

ミリカ・ヒルズ ミリカ・テラス

MYRICA HILLS MYRICA TERRACE

No. 20-025-2015作成

新築
集合住宅

発注者	株大京 東京建物株 関電不動産株 株長谷工コーポレーション 新日鉄興和不動産株	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション HASEKO Corporation	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社長谷工コーポレーション	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

時代を超え、世代を超え住み継がれる森の街

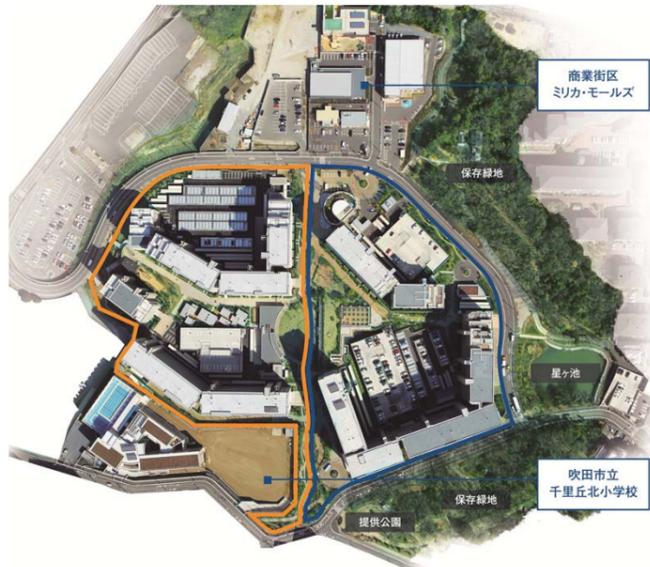
千里万博公園を望む約13haの広大なMBS千里丘放送局の跡地を、緑豊かな原風景へと復元し、そこに住まう人びとと共に未来へ継承していく「ミリカの丘構想」の中心となる総戸数1284戸の集合住宅。敷地から望む千里万博公園を手本とし30年後のありすがたを創造し緑豊かな街をつくるコンセプトのもと住まい手のコミュニティを誘発し育むことや個々の人生を楽しむコミュニティ施設や自然を身近に感じられるランドスケープにより、自然から学び、緑と共に成長し、豊かな生命を育む街への成熟へとつながる。



ミリカ・ヒルズ ミリカ・テラス全景



敷地中央に位置するコミュニティ形成の中心となる芝生広場

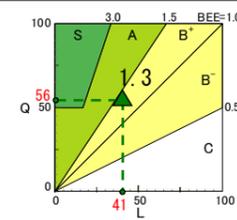


屋上も一体利用できるミリカ・ヒルズ側共用棟



芝生広場を包み込むミリカ・テラス側の共用棟

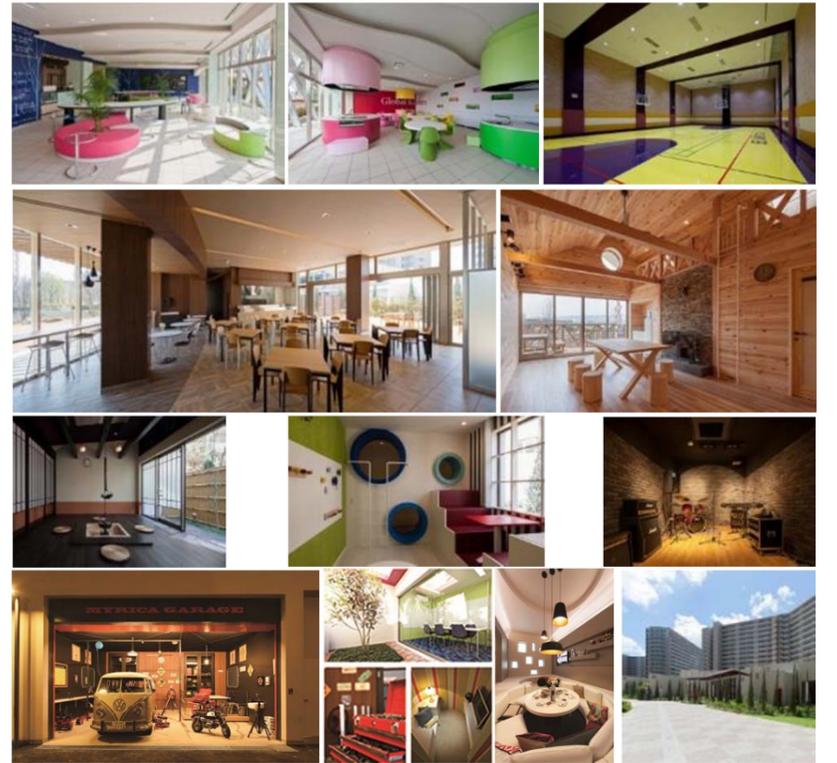
建物データ	所在地 大阪府吹田市 竣工年 A街区2015年 B街区2013年 敷地面積 A街区 27,016㎡ B街区 27,799㎡ 延床面積 A街区 61,995㎡ B街区 67,171㎡ 構造 RC造 階数 地下1階、地上15階	省エネルギー性能 PAL削減 — ERR (CASBEE準拠) 28 % LCCO ₂ 削減 27 %	CASBEE評価 B+ランク BEE=1.3 2010年度版 第三者認証
-------	--	---	--



コミュニティをつくり育てる仕掛け

集合住宅の維持と発展に必要な不可欠である住まい手のコミュニティを誘発し育む施設や設備を設けている。ミリカ・ヒルズは住まう人々のコミュニティをつくる仕掛け、体育館を核に、キッチンスタジオなどのグループで利用できる施設を充実させた。ミリカ・テラスではコミュニティ形成する個々やグループが楽しめる仕掛けとしてミュージックスタジオ、DIYガレージや囲炉裏などのパーソナルな施設を付加している。ランドスケープデザインにおいても起伏ある地形を生かして歩くたびに目線が変わり新しい発見や出会いが生まれたり、敷地内は完全歩車分離をして安全確保されたものをベースに街の骨格となる歩道の他に、様々な径の道を設けてあいさつが自然と生まれるような空間を創出。

敷地中央には広場を設け周囲に共用棟を配置し自然と人が集まるような仕掛けが演出されており、これらの共用施設やオープンスペースを活用してコミュニティづくりを楽しめるような住民参加プログラムを実施している。住環境にとって重要なファクターである緑をつくり手から住まい手へと継承し維持、発展させていくことがコミュニティとともに育まれている。



高い緑化率の確保。既存樹の保存、移植、再生。そうした取り組みが認められ、財団法人都市緑化機構による「SEGES (シージェス)」をマンション事業では全国で初めて取得。「保全、創出される緑が社会や環境に貢献する計画」と評価認定された。また環境アセスメントを実施し開発事業の環境影響を調査し、提供公園の整備や既存樹の保存・移植など数々の保全措置を計画。またエコキュートや共用部LED照明、太陽光発電の採用等省エネにも配慮している。

設計担当者

統括：古川俊一郎／建築：玉木克也／構造：泉幸助／設備：岩城賢二、大和啓之／インテリア：芝本和可／外構：佐々木優

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3.1. 生物環境の保全と創出 (高い緑化率、既存樹木の保存の取り組み)
- Q3.2. まちなみ・景観への配慮 (周辺環境への調和、街並みの形成)
- Q3.3. 地域性・アメニティへの配慮 (地域へ開放した広場や屋上緑化を計画)